

■植木枝盛 自由民権思想家。板垣退助の演説で政治を志し、徹底した民主主義を主張したが、毒殺の疑いで早世。

うえきえもり

蕃書調所・・・1857＝ 土佐藩士の家に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 3歳：

薩長同盟・・・1866＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝11歳：

藩校致道館で漢学等を学ぶうち、

明治6年政変 1873＝16歳：

佐賀の乱・・・1874＝17歳： 板垣退助の演説を聞いて政治に志し、

初の民間工場1875＝18歳： 上京、明六社の演説会などで啓蒙思想に接し、

三つの反乱・1876＝19歳： {郵便報知新聞}掲載の投稿「猿人政府」により投獄される。

西南戦争・・・1877＝20歳： *帰郷して立志社に加入し、立志社建白書の草稿を起草。以後、各地に遊説し、愛国社の再興、国会期成同盟の結成を推進するとともに、土佐州会(地方民会)の議員として活動する。

琉球処分・・・1879＝22歳：

・・・1880＝23歳： 「民権自由論」、

有志組織の自由党を結成し、

明治14年政変1881＝24歳： 帰郷して立志社のために私擬憲法を起草、再び上京して、*初の全国政党自由党の結成に参加。

新体詩抄・・・1882＝25歳： 全国の酒造家に呼びかけて酒屋会議を開き、酒造税の増税に反対、{自由新聞}の編集に従事。

岩倉具視没・1883＝26歳： 「天賦人權弁」などの著作がある。

秩父事件・・・1884＝27歳： *自由党解党後、高知に帰り県会議員として活動、また{土陽新聞}の編集に当たる。

初の対等条約1888＝31歳： 後藤象二郎をかついでの大同団結運動の内紛調停に失敗。

帝国憲法発布1889＝32歳：

帝国議会始・1890＝33歳： 帝国議会の開設に当たって衆議院議員となったが、土佐派議員とともに民党を裏切り自由党を脱党。

大本教・・・1892＝35歳： 第2議会解散後、復党したが、その直後に没した。毒殺の疑いもたれている。

{愛国志林}{高知新聞}などに掲載した論説は多数にのぼり、政治、社会、法律、宗教、文芸などの多方面にわたっている。一院制議会の開設、男女普通選挙、基本的人権の保障、抵抗権など、時代を先駆するものであった。